

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践の報告
- (2) 情報交換, 情報提供による学習
- (3) 授業提案による研究 (統一授業研)

2 研究経過

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 5月 7日 | テーマ, 研究内容決定 |
| 5月16日 | 情報交換, 研究計画 |
| 6月20日 | 実践報告, 授業案検討 |
| 8月 8日 | 授業案検討 臨地研修「春日居郷土館 (小川正子記念館)」(笛吹市) |
| 8月29日 | 研究授業 |
| 9月26日 | 研教研りレポート検討, 実践報告 |
| 11月28日 | 実践報告, 県教研環流報告 |
| 1月16日 | 実践報告, 授業案検討 |
| 2月 6日 | 研究授業 |
| 2月13日 | 研究のまとめ |

II 成果と課題

1 成果

- ・昨年度に課題となった「人権」に対する認識を学習会を通して再確認し合うことができた。
- ・夏季の隣地研修では, 身近にありながらなかなか見る機会がない春日居郷土資料館で話を聞くことができ, 戦争の悲惨さを民衆の立場から考えたり, 小川正子のハンセン病に対する取り組みについて知ったりすることができた。
- ・実践報告では, 様々な領域からの貴重な実践を聞くことができ, 今後の取り組みの参考となった。また, 意識が高まり, お互いに刺激し合うことができた。
- ・2つの研究授業で, 部員同士が意見を出し合い研究を深めることができた。
- ・校長先生にはいつも貴重な資料や助言をいただき, ありがたかった。
- ・自立と共生の部会へもレポートを提出することができた。次年度以降も続けていきたい。
- ・「人権は『人が生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利』」と「人権教育

とは『人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動』ということなど、人権と人権教育に関する基本的な考え方が共通理解できた。

2 課題

- ・国際連帯の基本的な考えが難しく、どのような実践をしたらよいか分かりにくかった。今年1本の実践だったが、もう少し実践発表があっても良かった。
- ・中学校の先生にも参加しても良かった。
- ・内容的には、本部会に所属している先生方がテーマに即した内容の実践を報告しあったので貴重な時間になったが、「平和」についてもう少し研究を深めていくことができればと思った。

III 成果物

1 指導案

- ・3年学級活動指導案「わたしの気持ちつたえます」 檜垣貴子（祝小）
◇ねらい：感じ方や考え方の違いを認め合い、自分の意見や気持ちを伝えることの大切さに気づくことができる。
- ・1年学級活動指導案「なんていったらいいかな？」 保坂千恵子（井尻小）
◇ねらい：「ぼかぼかことば」について知り、言い方によって友達に与える影響について考える。

2 実践報告資料

- ・人権教育実践「『正しいこと』について考えよう」 甘利志賀峰（塩山南小）
- ・人権教育実践「えがおがいっぱい、二年生」 雨宮 由縁（井尻小）
- ・平和教育実践「戦争について知ろう」 山宮 由紀（日下部小）
- ・平和教育実践「平和について考えよう」 前島 国学（菱山小）
- ・平和教育実践「平和について考えよう」 三森 公仁（塩山南小）
- ・国際連帯実践「多文化理解・多文化共生の取り組み」 高添 勉（菱山小）
- ・平和教育実践「へいわってどんなこと」 渡邊 彩（日下部小）
- ・人権教育実践「きみの見方だ 子どもの権利条約」 田辺 博幸（祝小）

3 提供資料

- ・人権教育資料「人権と人権教育について」 三森 公仁（塩山南小）
- ・平和教育資料「平和への願い 6.23 沖縄 慰霊の日」
～「命どう宝」（ぬちどうたから）～
～島唄について～ 樋口美根夫（八幡小）

（部長 三森公仁）